

審査委員長ニール・ジョーダン監督に決定

『クライング・ゲーム』監督、アカデミー脚本賞受賞

第23回東京国際映画祭（以下TIFF、10月23日（土）～31日（日）六本木ヒルズ他にて開催）のコンペティション国際審査委員長に、ニール・ジョーダン監督が決定致しました。ニール・ジョーダン監督は第1回TIFF（1985年）に『狼の血族』で参加。今回25年ぶりのTIFF参加となります。また、アカデミー賞をはじめ多くの国際映画祭で数々の賞を受賞するなど、ハリウッドで活躍するアイルランドを代表する監督・脚本家です。

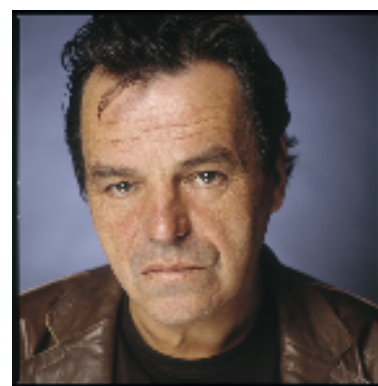
プロフィール

1950年、アイルランド、スライゴ生まれ。

小説家としてキャリアを始める。処女作の短編集「チュニジアの夜」（1976）で、ガーディアン・フィクション賞を受賞。その後、5作品を発表。「The Past」（1979）、「獣の夢」（1983）、「Sunrise With Sea Monster」（1994）、「Shade」（2005）。最新作「Mistaken」は2011年に出版予定。

1982年『殺人天使』にて長編監督・脚本家デビューを果たす。その後、『狼の血族』（84）、『モナリザ』（86）、『クライング・ゲーム』（92）、『インタビュー・ウィズ・ヴァンパイア』（94）、『ブッチャー・ボーイ』（98末）、『ことの終わり』（99）、『ギャンブル・プレイ』（02）、『プルートで朝食を』（05）、そして最新作『Ondine』を含め、15作以上の映画において、脚本・監督・プロデュースなどを手がけている。

監督の作品は、アカデミー賞、英国アカデミー賞（BAFTA）、ゴールデン・グローブ賞、ヴェネチア国際映画祭（金獅子賞）、ベルリン国際映画祭（銀熊賞）など、世界中の映画祭で数多くの賞を受賞し、高い評価を受けている。また、これまで5つの名誉博士号を授与されており、1996年にはフランス芸術文化勲章（オフィシエ）を受勲している。



〈主な受賞歴〉

『クライング・ゲーム』でアカデミー脚本賞、『マイケル・コリンズ』でヴェネチア国際映画祭金獅子賞、『ブッチャー・ボーイ』でベルリン国際映画祭銀熊賞を受賞

コンペティション エントリー募集

【募集締め切り：7月15日（木）】

第23回TIFFコンペティションのエントリーを現在募集しています。コンペティションでは、現在世界の第一線で活躍する多くの監督たちが新人時代に参加する一方、数々の実績のある実力派監督の新作もプレミア上映してまいりました。最高賞である「東京 サクラ グランプリ」を目指して、昨年度は映画祭史上最多の81の国と地域から743作品もの応募がありました。

本年は国内外問わず、更に幅広く、そして多くの作品を募集しております。皆様のご応募をお待ちしております。応募に関する詳細は、映画祭公式ホームページ (<http://www.tiff-jp.net>) をご覧下さい。

■本件に関するお問い合わせ：東京国際映画祭事務局 作品グループ E-mail：competition2010@tiff-jp.net